

毎月1点検運動

～みんなで減災対策～

5月

テーマ

南海トラフ地震
臨時情報

南海トラフ地震臨時情報とは

南海トラフ地震臨時情報は、南海トラフ沿いで大規模地震発生の可能性が高まったと評価される場合等に気象庁から発表される情報です。地震の発生に備え、事前の避難が求められているのが特徴です。

情報の種類

情報発表条件

県民の皆様の防災対応

巨大地震注意

(一部割れケース)
(ゆっくりすべりケース)

巨大地震の発生に注意が必要な場合

※ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上M8.0未満の地震が発生したと評価した場合や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等

日ごろからの備えを再確認し、地震発生に十分注意しながら通常の生活を続ける

巨大地震警戒

(半割れケース)

巨大地震の発生に警戒が必要な場合

※ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合

お住まいの住居が
「事前避難対象地域にお住まいの方」や
「自力避難が困難で地震発生後の避難では間に合わない可能性のある方」等については1週間程度の事前避難を実施

注意 一部割れケース

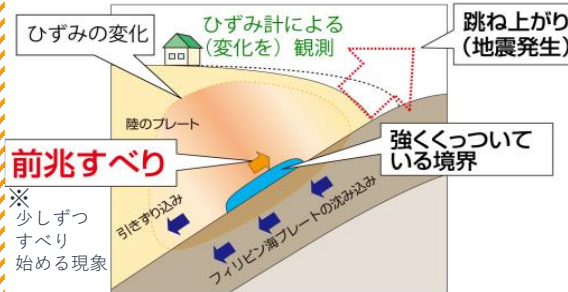
南海トラフの中で比較的大きい地震が発生（M7クラス）以上

南海トラフで地震
(M7クラス)が発生

南海トラフの大規模地震
の前震か？

注意 ゆっくりすべりケース

プレート境界面の通常とは異なるすべりが発生



警戒 半割れケース

南海トラフの東側で大規模地震が発生

南海トラフ東側で大規模地震
(M8クラス)が発生

西側でも大規模地震
発生の可能性

とくしま災時記
(5月編)

1960(昭35)年 5/24 チリ地震津波
1967(昭42)年 5/28～29 降ひょう(屋根瓦破損30棟)

2003(平15)年 5/30～31 台風4号(那賀町にて1名死亡)
2011(平23)年 5/26～29 台風2号(三好市池田町で床下浸水5棟)